

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 12月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	0194700100		
法人名	丸信産業 株式会社		
事業所名	グループホーム 光の家族		
所在地	〒089-5234 北海道中川郡豊頃町中央新町5 0番地1 (電話) 015-579-5505		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成21年12月22日	評価確定日	平成22年1月7日

【情報提供票より】(21年 12月 2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 21年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人、非常勤 1人、常勤換算	7.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造軸組平屋 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費:9,000 円	
敷金	有(円)	<u>無</u>	暖房費:6,000 円(10-3月)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> (100,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / <u>無</u>	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(12月 2日現在)

利用者人数	8 名	男性	4 名	女性	4 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.8 歳	最低	71 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊頃町立豊頃医院、医療法人博愛会開西病院、豊頃歯科診療所
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設置者は自身の経験も踏まえ、受け入れ先が見つからない方々などの居場所となれるよう本事業所を立ち上げ、自分たちも入りたいと思えるようなグループホームを目指している。建物にもこだわりを持ち、広い土間や天窓から陽が降り注ぐ明るい共用空間の中、思い思いの場所で過ごせるようになっている。開設から日が浅く経験の少ない職員もいたが、外部研修にも力を入れ利用者の不利益にならないよう努力をしてくている。また、地域の方々を招いての昔遊びの会など、地域に密着しできる限り多くの方々との交流ができるようになっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価は今回が初めてとなる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価は管理者及び社長がまとめ、それを基に会議で職員と話し合いながらまとめている。自己評価項目は職員の意識向上にも役立っている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	評価日現在は未実施であるが、運営推進会議のメンバーは決まっており今後開催の予定がある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情や相談があった場合には管理側で相談し、必要があれば職員にも周知している。重要事項説明書には内外の相談窓口を明記している。家族には毎月来てもらい、金銭出納帳の写しと献立表を渡すと共に普段の様子を報告し、家族から意見、要望を伺っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に加入し、地域や学校の行事にはできる限り参加できるようにしている。また、毎日の散歩時などには地域の方々と挨拶を交わしている。事業所が主催する昔遊びの会、介護予防の落語口演会、ふれあい祭りで手打ちそばや綿アメを提供するなど地域の方々を招いての交流も行われている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	契約書に「地域社会の一員として生活し、選挙その他一般住民としての行為を行えること」を掲げ、利用者が暮らしやすい理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に理念の実践が行われているかを話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域や学校の行事にはできる限り参加できるようにしている。また、毎日の散歩時などには近所の方々と挨拶を交わし、自分の終の棲家としたいと思って遊びに来てくれる方もいる。事業所主催での昔遊びの会、介護予防の落語口演会、ふれあい祭りなど地域の方々を招いての交流も行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者及び社長がまとめ、それを基に会議で話し合いながらまとめている。自己評価項目は職員の意識向上にも役立っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>評価日現在は未実施であるが、運営推進会議のメンバーは決まっており、今後開催の予定がある。</p>		<p>今後は町の職員の出席なども得て取り組みが行われることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者とは毎週のように連絡を取りながらより良いホームを目指している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には面会を兼ねて月初めにホームに来てもらい、金銭出納帳の写しと食事の献立を直接渡して、利用者の様子を見てもらいながら報告をしている。また、薬の処方が変更になった時や発熱などの変化時には電話で報告をしている。</p>		<p>直接の報告はされているが、今後は更に不定期となっているお便りを定期的に発行し、利用者の状況やホームのことを報告することが期待される。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談や苦情があった場合には管理側で相談し、必要があれば職員にも周知している。重要事項説明書には内外の相談窓口を明記している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>これまでは職員の退職は1名のみである。満室になっていない時期でもあり、他職員が十分に関わりを持つことでダメージを防ぐ配慮をした。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>加入しているグループホーム協議会では毎月研修を行っている。事業所では職員に研修の案内をし、勤務調整を行い交通費を経費負担にするなど、これらの研修に参加しやすくなるように配慮している。参加後は報告書を提出し、毎月行われるミーティングで内容の周知を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会で行われる交流会や勉強会にはできる限り参加し交流を図っている。また、他グループホームの見学なども行い、良い所は取り入れていくよう努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には見学に来てもらい、お茶を飲みながら交流をしてもらっている。地域の方の中には自分の終の棲家としたいと思って訪問してくれる方もいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>農業を営んでいた方も多いので、うねの間隔、種をまく時期、収穫時期など経験に基づいたことを教えてもらっている。また、雪かきなどできることをしてもらったり家事や会話の中でも生き生きと生活してもらうことを心掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>買い物、パチンコ、花見、焼き肉、温泉に行くなど日常の会話の中から希望や意向を把握し、できる限り実現できるようにしている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者と家族の要望を確認し、アセスメントを基に仮のプランを作って職員の話し合いを行い、優先順位をつけて介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ミーティング時にそれぞれの利用者について気が付いたことを確認し合い、状況の変化などがあればその都度、現状に即した計画を作成するようにしている。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>町内の病院については職員で通院介助を行っている。その他、相談に応じている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関にかかっている方が多いが、他のかかりつけ医にかかっている方々もいる。協力医療機関は認知症に理解があり、待ち時間が少なくなるよう配慮されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設からあまり時間が経っておらず現在は準備段階となっているが、今後家族や医療機関との話し合いを計画している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに関することは他の方に聞こえないように注意している。個人情報の使用に関しては指針があり、同意をもらっている。ケース記録には他の方の実名を入れないようにし、利用者の目につかないようにしている。保管は指定の場所に行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夜、部屋でテレビを観ていて遅くまで起きていたり、公園に散歩に行きたいなどできる限り自由に過ごしてもらえるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、配膳、下膳、後片付けなど一緒に行っている。月に1～2回の行事食は楽しみなものになるよう調理師に依頼している。今後は食事のことを栄養士に相談できるよう計画している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴管理表がありバイタルチェック表と共に管理されている。夜間入浴も行っており、週2回以上入ってもらえるようにしている。毎日入浴する方もいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の支度、テーブル拭き、後片付け、新聞や郵便物の取り入れ、カーテンを引くなど日常的にそれぞれの役割などを持って暮らしてもらっている。草むしり、雪かきなど季節に応じた役割もある。毎日の10分間体操、ボール運動、カラオケなどの楽しみごとや気晴らしを行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の公園や学校などに散歩に出かけて近所の方と世間話などを行っている。食材などの買い物にも一緒に出かけ、好きなものを買ってきている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、ベランダなどにはセンサーがついている。外出したい方にはスタッフが同行し、出かけてもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>非難訓練は年2回計画している。次回は夜間の非難訓練を行う予定でいる。緊急連絡自動システムを設置し、消防署などに連絡後、自動的に職員に連絡が入るようにしている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取表と個人別の排泄・水分チェック表がある。食材についてはおおよその量を記載しており、今後栄養士などに相談する予定である。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には広い土間があり、昔の遊び道具なども置かれたスペースとなっている。居間や廊下には天窓があり、壁面に窓のない場所も明るく過ごしやすいとなっている。観葉植物や写真、季節ごとの飾りなど生活感や季節感が感じられるようになっている。また、随所にテーブルと椅子も置かれ、思い思いの場所で過ごせるようになっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの方がベッドやマットレス、仏壇、鏡台など好みのものを持ち込んでいる。家族の写真、普段使っていた湯飲みなど馴染みのものもあり、居心地良く過ごせるようになっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。